

光葉同窓会メールマガジン

<2026年3月号>

225号 2026.03.02 配信

春の息吹を感じるようになり、草花が咲き誇る色彩豊かな季節が訪れました。黄色の可愛らしいミモザの花は、3月8日の国際女性デーの象徴です。1977年に国連で制定されてから、50年近く経ち、日本で初の女性総理大臣が誕生しました。

2026年 UN Women（国連女性機関）は「権利、正義。行動。すべての女性と少女のために。」をテーマに、誰もが平等に権利を守られる社会づくりを呼びかけています。

（常任委員 畠中弘子）



■同窓会だより

◇生涯学習報告「パン作りの会」 第1回目 1月21日（水） / 第2回目 1月28日（水）

昨年好評だった本講座は、今年も2回に分けて実施され、両日合わせて14名が参加しました。表まい子さん（1997年生活文化学科卒）のご指導で、あんパンと果実を使ったクリーム大福の2種類を作りました。パンの香りに包まれ、和気藹々とした雰囲気の中で、おいしく楽しい時間を過ごすことができました。



◇ワーキングネットワークセミナー

「その態度、カスハラですよ！」 ～カスハラで信用を失わないために～開催 2月7日（土）

講師の一般社団法人大授代表の高田かおりさん（1981年生活科学科卒）から、ハラスメント対策の強化が10月より施行されるのを受け、カスハラ（カースハラ）の定義や判断基準について、詳しく解説していただきました。事業者、従業員、利用者の立場を理解し、相手をリスペクトできない要因を分析。ロールプレイングでの具体的な事例も交え、人格の否定や社会通念上の許容範囲から、カスハラにならない言動と対策を学ぶことができました。オンラインを含め18名の参加でしたが、今後の生活に希望がもてる内容でした。



◇2025 年度卒業式と光葉同窓会入会式開催予定

3月11日（水）人見記念講堂において、2025年度学位記並びに卒業証書授与式が挙行されます。光葉同窓会同窓生を代表して、須田祐子さん（2003年 英米文学科卒）が祝辞を述べ、卒業生の門出を祝福します。光葉同窓会入会式も行われ、新幹事を紹介します。

4月1日発行の光葉同窓会報第106号に、卒業式祝辞を掲載します。ぜひご覧ください。

◇支部会の開催

・3月8日（日） 岡山県支部会

■広げよう光の葉



野地（旧姓 杉田）泰子さん

1991年 文学部英米文学科卒

「場づくり」から、もう一度学びの場へ

かれこれ20年近く、幼児向けキャラクターの催事やショーといったコンテンツの企画・制作・運営に携わってきました。IP（知的財産）ビジネスの一端で、親子の笑顔に出会えるこの仕事は、力を与えてくれます。新卒で広告会社に就職したのも、人の心を動かす「場づくり」がしたいという思いからでした。20～30代は媒体営業やタイアップ広告の企画推進に従事し、海外取材やイベントなど、多様な消費者接点に関わられた経験は大切な宝です。結婚後は育児や介護との両立を考え、39歳で早期退職しフリーランスへ転身。形は変わりましたが、「場づくり」への思いは現在の仕事にもつながっています。

新型コロナによるパンデミック以降、社会が大きく変化する中で、「これから自分は何を大切にし、どのように社会と関わっていききたいのか」と、セカンドキャリアについて考える時間が増えていきました。そんな折に参加したのが、設立10周年記念特別講演会が開催された世田谷支部会や、光葉同窓会創立50周年記念のボストン・ニューヨークの旅、そして昨年の韓国の旅です。久しぶりの同窓会の場には、世代や居住地、歩んできた道の違いを越えて、自然につながれる心地よい時間がありました。海外で母校に貢献し続ける同級生、日本食文化をアメリカから発信する後輩、留学生として昭和で学び、その学びを母国で活かして活躍されている方々。誰もが日本と世界を結ぶ懸け橋として尽力されている姿に触れ、「年齢に関係なく学び続け、自分らしい形で社会に関わっていく」その道筋を示していただいたように感じました。

こうした出会いに背中を押され、これまで培ってきた語学や企画遂行力、介護福祉士の資格なども含めた自分なりの方法で、日本語を母語としない方々を支える「場づくり」ができるのではないかと思うようになりました。現在は「登録日本語教員」の資格取得を目指し、仕事の合間に養成講座で学んでいます。今年は教育実習と国家試験に挑戦する予定で、この先の自分を楽しみに感じています。

同窓生が集う場には、人生を重ねてきた「今」の言葉があり、それらが誰かの次の一步を照らしてくれるような、まさに「世の光」であふれ、その温かさに心がほどけるような気持ちになります。それは、世代を超えて受け継がれてきた建学の精神が、私たちの中に息づいているからだと思います。これからは様々な場で皆さまとお会いし、新たなご縁や学びを重ねていけることを楽しみにしております。【End】